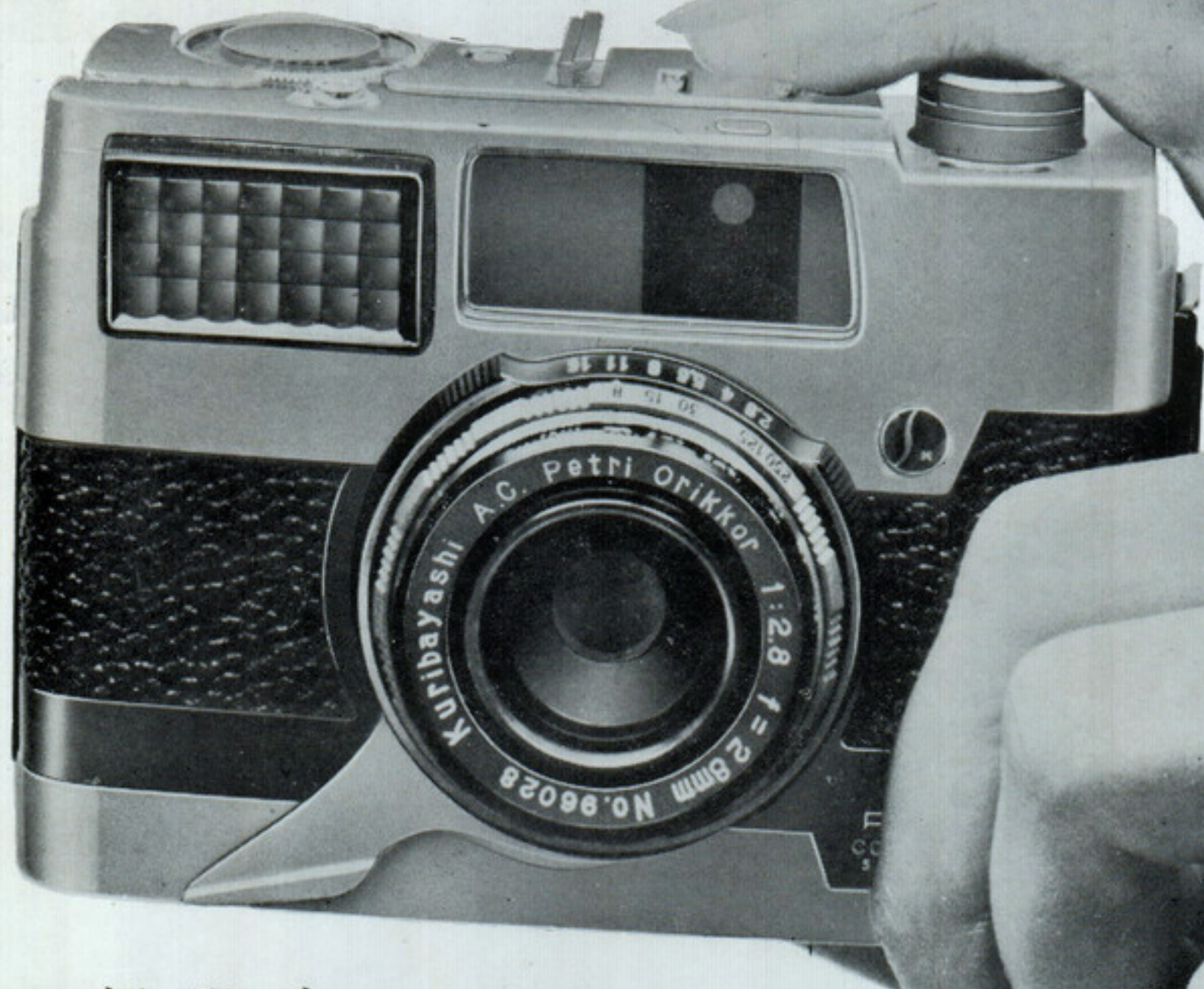


×2

半値でカラーが楽しめる！



● 新発売

楽しさ2倍、費用は半分！

高価なカラー・フィルムも、2倍に使えてグンと経済的！特にむずかしいカラーの露出も、正確な内蔵電子露出計の働きで、手軽にO.K.失敗の不安はまったくありません。シャープなオリコール・レンズの描写力によって可愛らしい画面に、カラーの楽しさすばらしさがいっぱい《ペトリコンパクトE》はモノクロ(黒白)はもちろん、カラーにも最適のコンパクトカメラとして、あなたのカメラワークに新しい魅力をクローズアップ致します。

正確な電子露出計内蔵

- 操作は機敏なピストル式
- ファインダーは明るく見やすいグリーン・ブライトフレーム式
- レンズはシャープなオリコールF2.8
- シャッターは軽快なカーペルS (B<sup>1</sup>/<sub>15</sub>~1<sup>1</sup>/<sub>250</sub>)

# ペトリコンパクトE

¥10.600

ケース ¥1.200  
グリップバンド付

ペトリコンパクトEの愛用者カードをお送り下されば貴方のイニシアルをカメラケースにお付け致します

カタログ進呈/誌名明記



ペトリカメラ・サービスステーション

PETRI 東京・千代田区神田小川町2-2

栗林写真工業株式会社

東京・ニューヨーク・カナダ・オランダ





# '61年のホープ ペトリカメラの 魅力をさぐる

「緑の窓に秘密がある」とは、ペトリ独特のキャッチフレーズであるが、そのキャッチフレーズのトップを切ったペトリは、発売以来二年間もすばらしい人気を持続し、出荷量より店頭消化の方が上廻っているといわれ、業界各方面の注目をあびたことはまだ耳新しい。これは海外より大量の注文を受け、国内でも生産計画をはるかにしのぐ活発な販売消化をきたしたためでもあった。

その後引続き、ペトリⅡ、E B、ハーフと、自慢のグリーン・オ・マチック・ファインダーの魅力を新製品に盛り込んで、今なお順調な成績を収めている。

そこで、ペトリカメラが、単なる外形上のデザインの良さばかりでなく、無駄のない機能的構造、それを達成するための緊密な部分、部品の規格化による均一な精度を有する生産方式の内面的努力に加えて、消費者をひきつけた「緑の窓」の魅力をさぐってみよう。

グリーンという色合いが、ここまで決定するに至った、当時の内部の検討の言葉を用いてみると、

「日本人はグリーンに弱いらしい。葉緑素入りの製品に人気のあるのもそのためであり、アイデアマンの色の使った心理作戦と新進の光学系技術者の新しい技術の結晶がこの成果を生んだのです。」

そして、名称もグリーン・オ・マチックと洒落てみたわけで、緑の窓に秘密があるというキャッチフレーズを採用し、グリーンの味を大いに強調しました。それが予想外に当たったというこ

とになりましようか。」

と語っている。では、こうしたアイデアはどこから生れるかというところ、従業員が同社の顧客層をつかむバックボーンになっているようである。また、販売と工場とが一本に結ばれており、新しい世代のカメラに対する要望がそのまま製品となって出荷される機動力の強みである。このグリーンレンズは単なる色ガラスを使用せず、光学系のクラウンガラスを使用しているわけだが、前記に挙げたような、その後の新製品について、ある小売屋さんに伺うと、

「ペトリカメラは宣伝が効いているので、お客様がまず指名して買いにきます。それにデザインが若い人の好みにピッタリというようです。私どもの立場からいうと、いろいろ複雑な機構の多い中で、説明のしやすいカメラという点が魅力で、私達の説明でお客様よく納得してもらえることでしょう。第一に説明しやすいカメラは売りやすいカメラというわけです。それに、故障がありませんね」といっている。また、ある小売店からは次のような声が聞かれた。

「ペトリさんのものは、市価が他のものにくらべるとしっかきりしているのだから安心して扱えます。それにファインダーのグリーンという色合いは、直接覗いてみると、いうにいわれない味わいがあるってカメラの高級観を倍加していると思えますが、これがいわゆる緑の窓に秘密があるという、ペトリの宣伝文句の核心をなしているのではないで

しよるか、お客様にも感じよく受けて原因のようです」と、答えてくれた。

また、ペトリ愛用者側の、使う立場の意見を聞いてみると、ある高校生は、「なんといいっても、デザインの魅力です。ウインドーに並べてあるのをみても、他のカメラと比較して、とびつきたくなる魅力をもっています。僕は三年前からペトリカメラを愛用していますが、使ってみて、性能のよいことにもすつかり満足しております。」

また、ある消費者は、  
「ペトリカメラは、ファインダーが大きい上に、緑色が特徴で魅力ですよ。ファインダーを覗いてみて、まったく明るいのに驚きます。このくらい明るければ申し分ないですね。」ともいっている。こうした外部の言葉一つを聞いてみても、ペトリカメラの優秀さが証明されよう。

またさらに、ペトリ工場では一貫作業の強みで、従来出したカメラの部品の型を全部備えているので、何年前の型でもいつでも部品の取替えや修理がすぐできる態勢が整っていて、一旦買われたカメラは何年でも安心して使用できるようアフター・サービスに徹している。一方ではより研究された、時代にマッチした新型、ペトリコンパクトE、二月上旬にはペトリペンタV2を発売することになり業界の話題となっている。

大正の初期より栄々としてカメラの製造に大きな足跡を残してきた、ペトリカメラの躍進の年、三十六年度の期待は大きい。